

必修：生命・医療系コース 選択：工学 探究支援・SSHコース

放射線の性質と医学利用

令和元年8月20日（火）9：50～15：50 場所：放射線医学総合研究所

講師：放射線医学総合研究所の研究者の皆様



一日のガイダンス



午前中の講義は中・高に分かれての講義「放射線の基礎知識」



空気中の放射性物質を捕まえる



空気中にある放射性物質を捕まえる別室での実験の様子をLive中継。この後行った霧箱の作成では、捕まえた放射性物質を使用して作成しました。霧箱は一人一個製作しました。自分で作った霧箱で放射線の軌跡を観察できたときには、歓声が上がっていました。霧箱はお土産として持ち帰りました。



実習「放射線を見てみよう」霧箱の作成



午後の講義

放射線の医学利用 新治療研究棟の見学



分子イメージング棟の見学



午後は放射線の医学への利用に関して講義を受けた後、様々な施設の見学を行いました。



【生徒の感想】

- ・最初は放射線自体が悪いものだと思っていたが、適切な量だと社会にとって人間にとって役に立つものだと感じた。また、加速器は写真では見たことがあるけれど、実物を見たのは初めてなので、大きさなどに驚いた。いつかあの仕組みを理解できるようになると思う。
- ・普段見られないような施設を見ることが出来て良かった。照射装置などは、表に出ている部分はとてもコンパクトな機械だと思ったが、裏そして他の建物に、とても大きな装置があり、驚きだった。ここで重病の人を多く救い、そして新しいものを生み出す研究をしているのだと思うと素晴らしいところだと思った。
- ・今日の講座では放射線の特性やいろいろな利用法を知れて楽しかったです。レントゲンを撮るときに、鉛の服を着る理由など気になっていたことがいろいろと分かりました。